

松代藩文武学校杯争奪小学生選抜剣道大会

感染拡大予防ガイドライン（4月23日加筆）

1. 【大会開催にあたって】

全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」及び長野県剣道連盟「主催大会開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」に則り、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ長野県・長野市及び開催施設の指示や実行委員会の判断により実施内容の変更や大会を中止する場合がある。（長野市が5月10日現在、長野県新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベル5の場合、中止となります）

2. 【大会出場及び運営にあたって】

(1) 会場に入場出来る者は、大会役員、係員、選手、監督及びチーム引率1名のみとする。

上記でも以下に該当する者は出場できない。

(ア) 基礎疾患のある者

●基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう。

●これらの者が理由があって出場（参加）する場合は、主治医の承認を得るものとする

(イ) 発熱のある者

●個人差はあるが、一般的には「37.5° C以上ある者」をいう。

(ウ) 咳、咽頭痛など風邪のような症状がある者、その他体調がよくない者

(エ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

(オ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 選手並びに関係者は、大会当日に自宅または宿泊先等で検温を行い、「大会参加者確認票」に氏名、住所、連絡先電話番号及び当日の体温等を記入し、大会会場に持参する。

(3) 選手は面マスクおよび家庭用マスク（関係者は家庭用マスク）を持参する。

(ア) 選手は試合時には面マスク、それ以外（開閉会式中、試合開始までの待機中）は家庭用マスクの着用を前提としている。

(イ) 審判中の審判を除き、会場内選手以外の者はマスク及びフェイスシールドを着用する。

3. 【大会会場内での留意事項】

(1) 選手並びに関係者は、フィジカル・ディスタンスを常に保つように心がける。

(2) 選手並びに関係者は、試合会場内でも手洗い、うがい、アルコール除菌液による消毒に努める。また、トイレではふたを閉めてから水を流すように心がける。

(3) 手洗い、うがいの場所をなるべく多く確保し、可能な限り多くの場所にアルコール除菌液を配置する。

4. 【スケジュール全体について】

- (1) 3密を避ける為、試合場は3試合場にて行う（一昨年まで6試合場）
- (2) 1日目に行っていた錬成会は行わず、県内予選会を行う。
- (3) 県内予選会・本大会とも3ブロックに別けて行い、ブロック毎に受付・試合・解散をし、試合会場に入る人数を制限する。
- (4) 開会式は行わず、それぞれのブロック開始時に最低限の開始式を行う。また、審判監督会議は受付での書類配布のみとし会議は行わない。

5. 【参加チームについて】

各チーム及び参加選手が所属する都道府県及び市町村が新型コロナウイルス感染症による県や地域をまたいだ移動制限をしている場合は参加出来ない。

6. 【受付】

各ブロックの開始1時間前から30分前までに行う。代表者1名が全員分の持参した「大会参加者確認票」を受付に提出する。受付を済ませて係員の指示のもと、試合場に入場する。試合場への入退場は、出入口が狭いので完全入れ替え制とする。

7. 【感染予防策の徹底】

- (1) 大会会場の換気を行う為、ドアは可能な限り開放し風通しを確保する。
- (2) 会場入口にて検温を実施し37.5度以上あるものは入場させない。
- (3) 会場入口に消毒液を設置し、入場時に消毒を徹底させる。
- (4) 選手待機場所にはイスを設置し、フィジカル・ディスタンスを徹底させる。
- (5) 試合終了、入替時にはイスや畳を消毒液で拭く。大勢が触れる手すり、ノブ等は適宜消毒をする。
- (6) 審判旗の共有使用を禁止する。
- (7) お弁当の注文・配布は行わない。（試合場内では水分補給以外の飲食を禁ずる）
- (8) 試合が午前・午後と分かれる為、チームの食事場所は設けない。役員・係員は指定された場所以外で食事しない。食事する際、マスクを外すのは最低限のみとし、会話は行わない。

8. 【その他注意事項】

- (1) 声援は、飛沫感染や濃厚接触の恐れがあるため、禁止する。
- (2) 鏝競り合いを避ける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない（引き技時の発声は認める）
- (3) 代表戦の延長は2分で区切りさらに延長が続く場合は5分間の休憩を取る。
- (4) 選手・チームは持参した物やゴミは必ず持ち帰る。

- (5) 試合会場や会場周辺、駐車場などで他チームと交流する場合も、フィジカル・ディスタンスを取り、短時間とする。
- (6) 大会参加の道中、高速道路を使用する場合、SAではトイレのみの使用とする。
- (7) 大会に参加した選手・関係者が大会終了後、2週間以内に罹患と診断された場合は医師・保健所の指示に従って対応し、速やかに大会事務局に連絡し、接触確認アプリ「COCOA」に処理番号を登録する。